

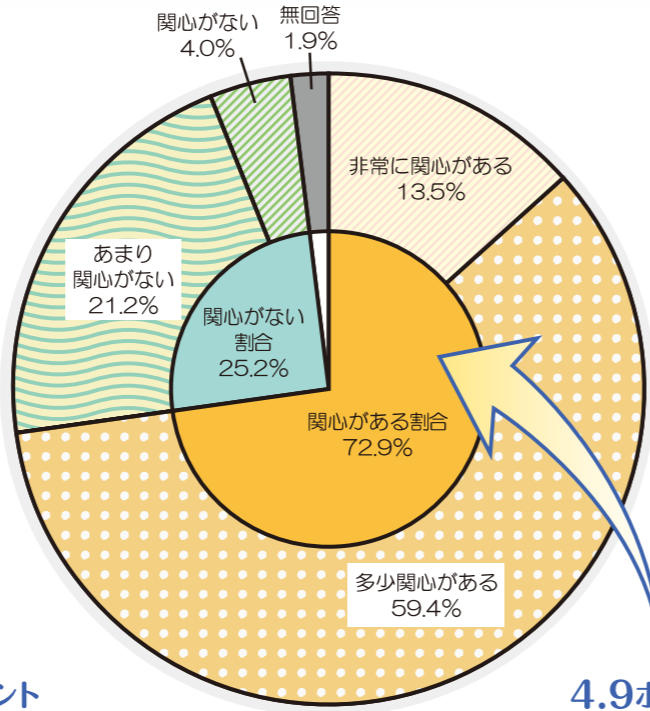
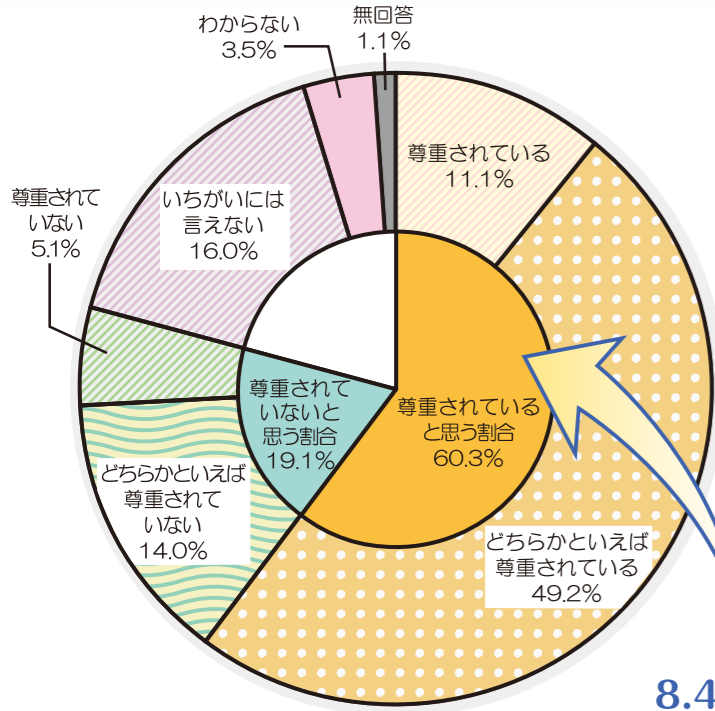
人権問題に関する 市民意識調査 結果の概要

人権が尊重されている社会だと思いますか？

人権問題への関心がありますか？

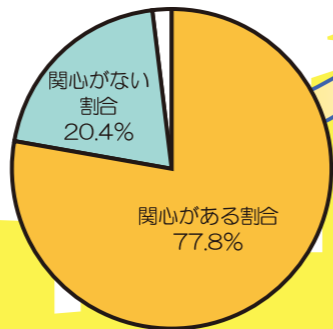
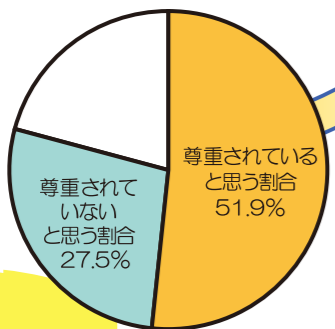
今回(平成24年度)

今回(平成24年度)



前回(平成19年度)

前回(平成19年度)

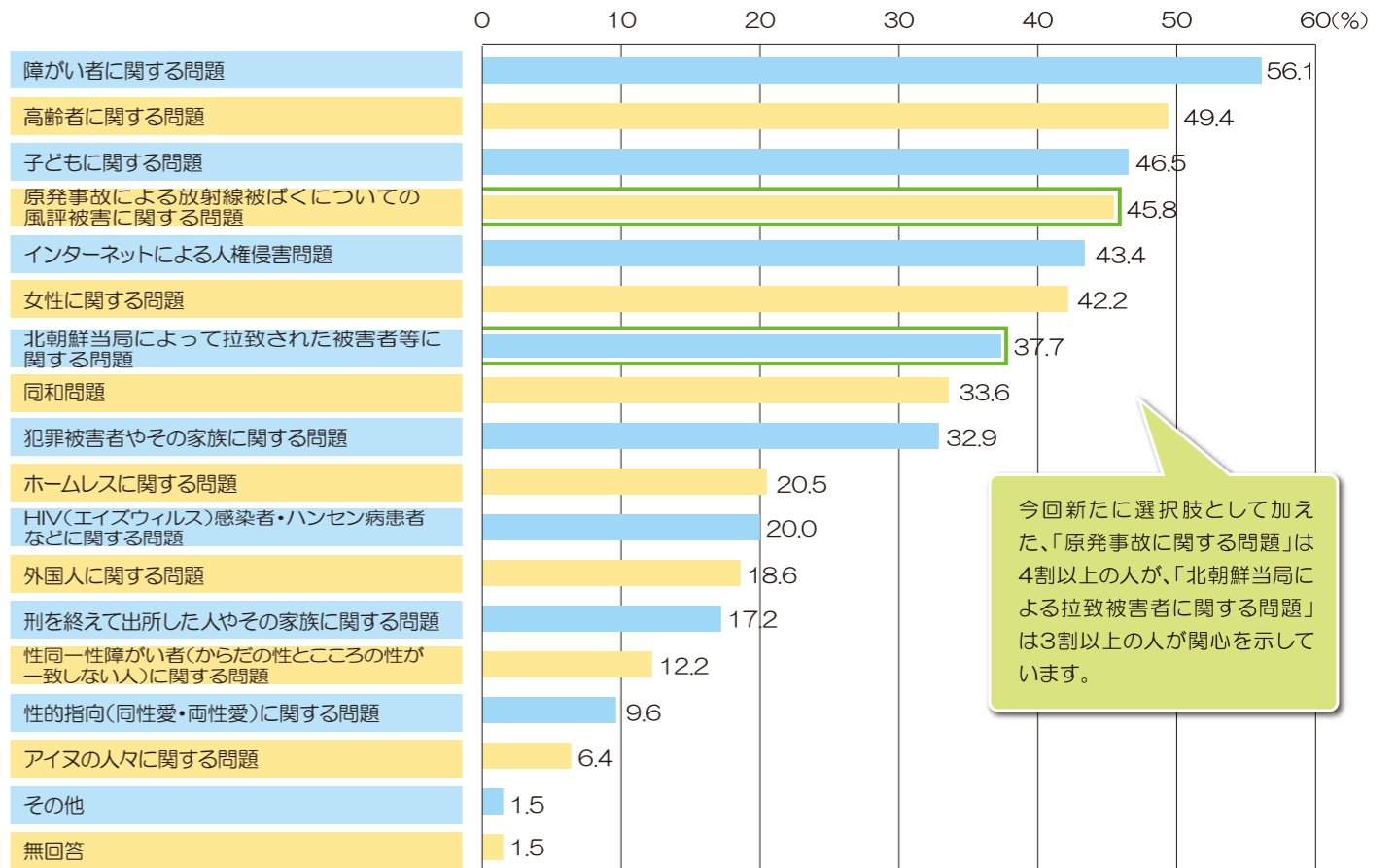


8.4ポイント
アップ

4.9ポイント
ダウン

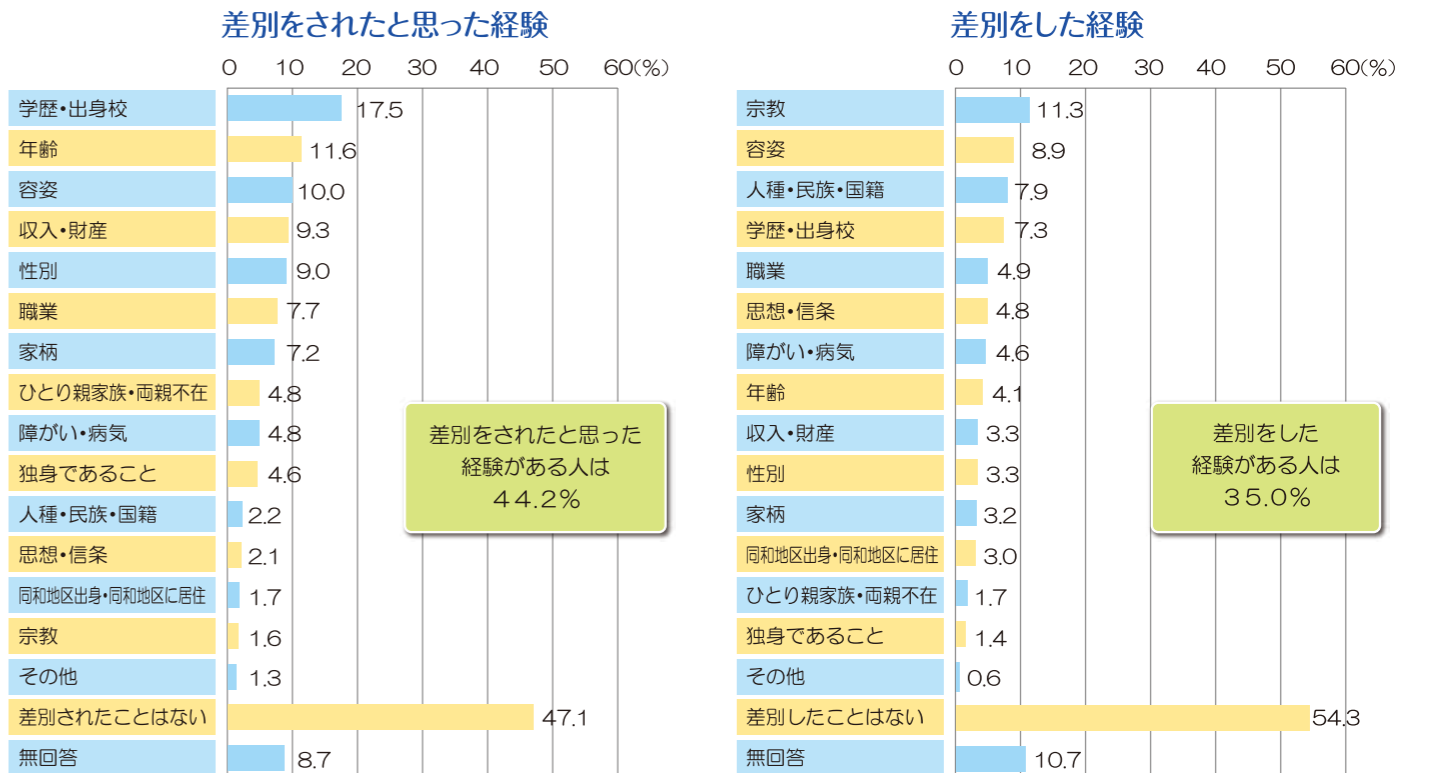
人権問題全般

Q 関心のある人権問題は何ですか？(あてはまるものすべて)

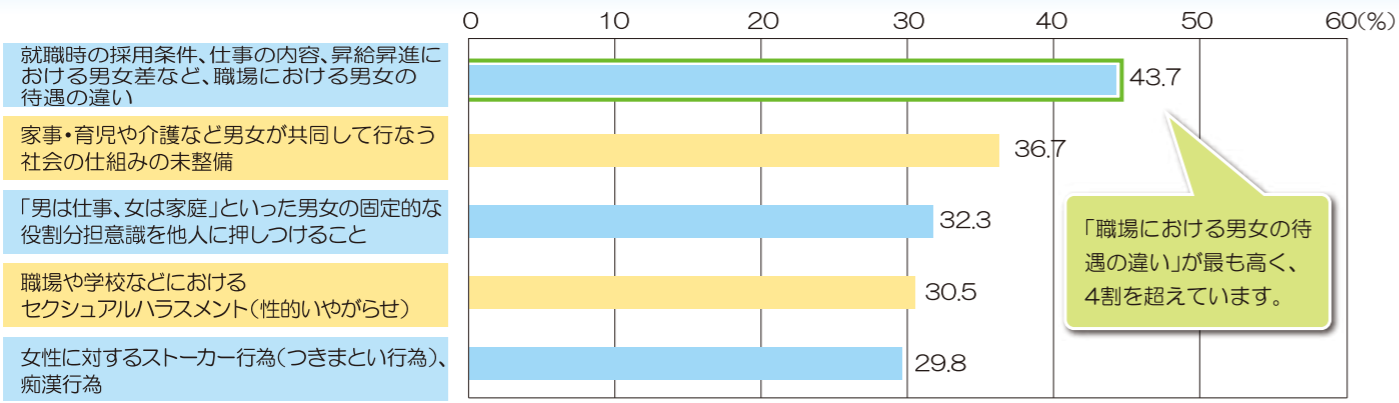


今回新たに選択肢として加えた、「原発事故に関する問題」は4割以上の方が、「北朝鮮当局による拉致被害者に関する問題」は3割以上の方が関心を示しています。

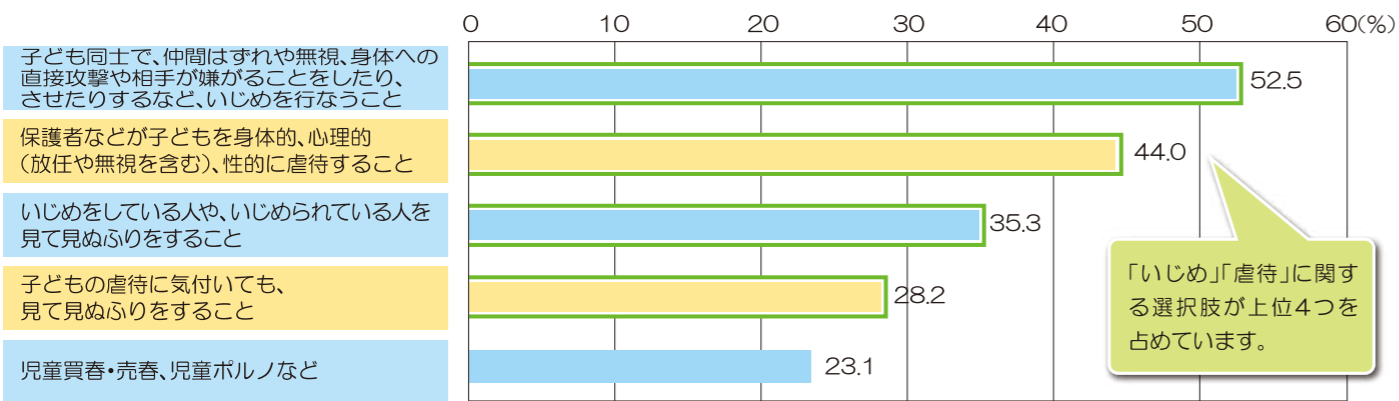
Q 差別をされた・したと思った経験はありますか？(あてはまるものすべて)



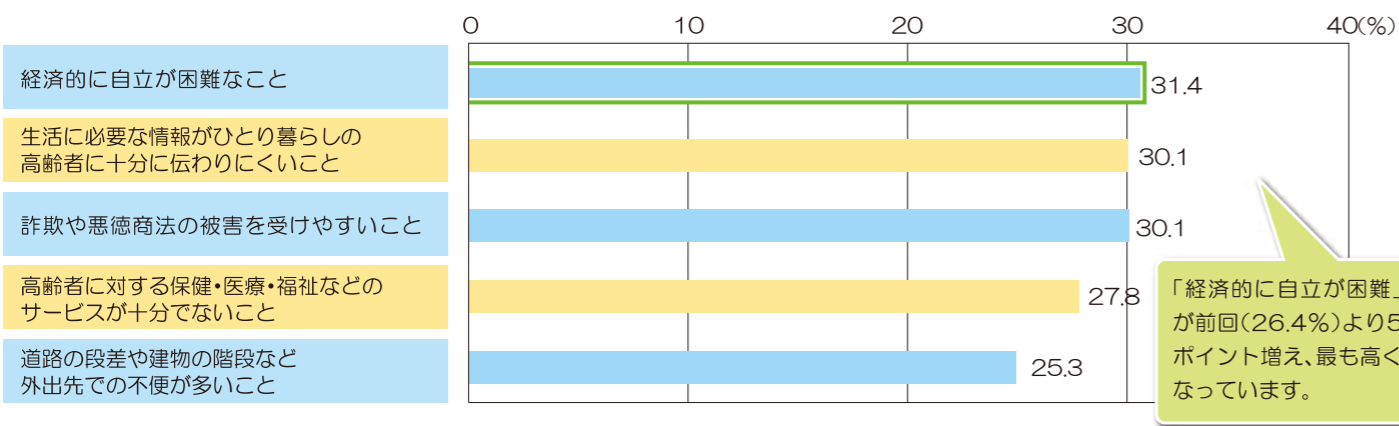
Q 女性に関する事柄で、人権上問題があると思われることは？



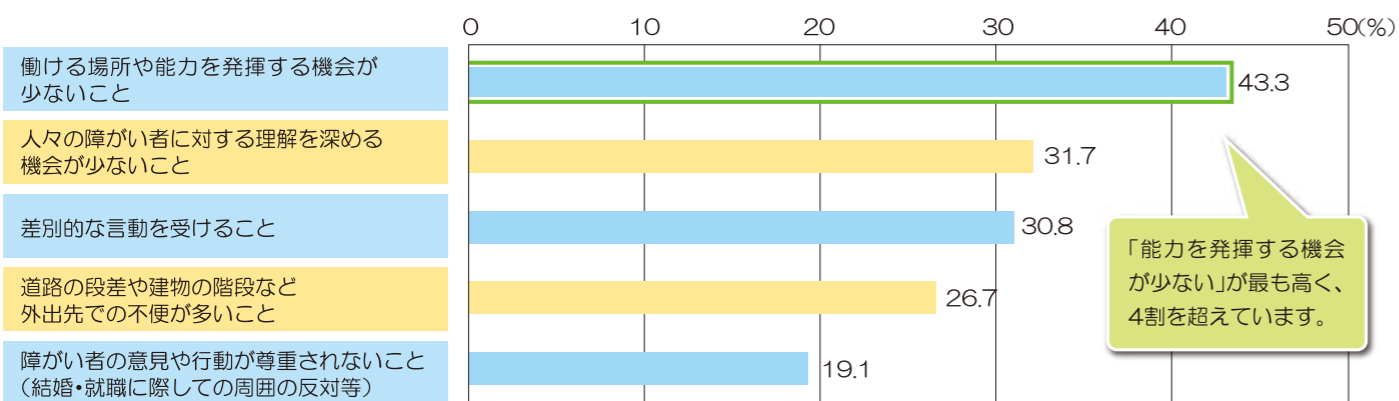
Q 子どもに関する事柄で、人権上問題があると思われることは？



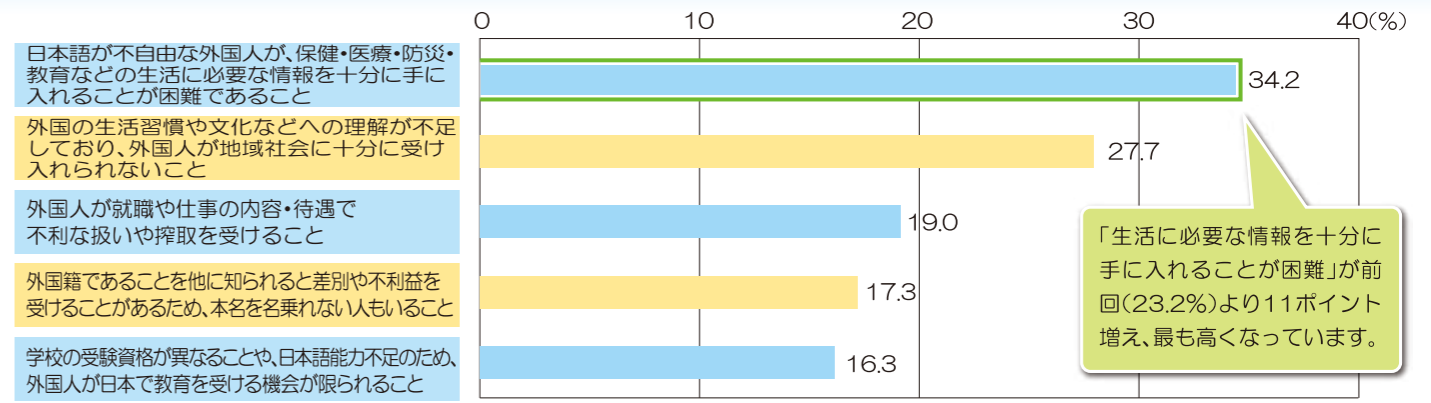
Q 高齢者に関する事柄で、人権上問題があると思われることは？



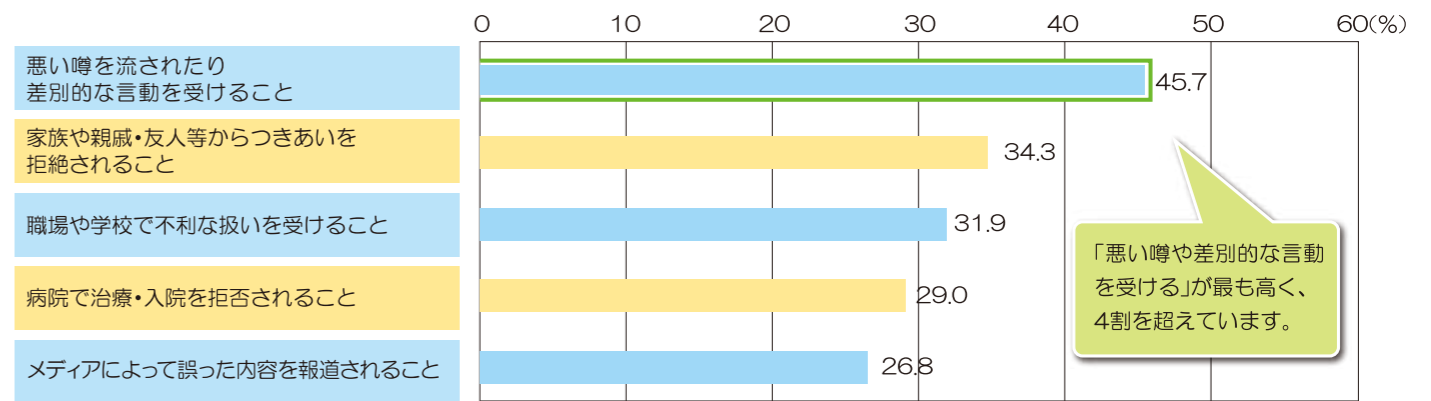
Q 障がい者に関する事柄で、人権上問題があると思われることは？



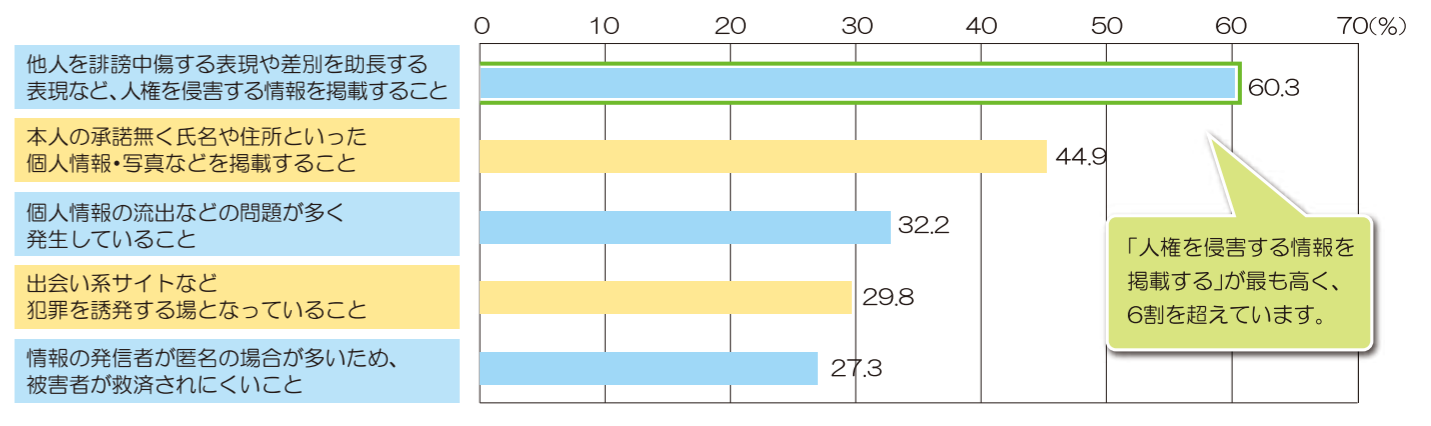
Q 外国人に関する事柄で、人権上問題があると思われることは？



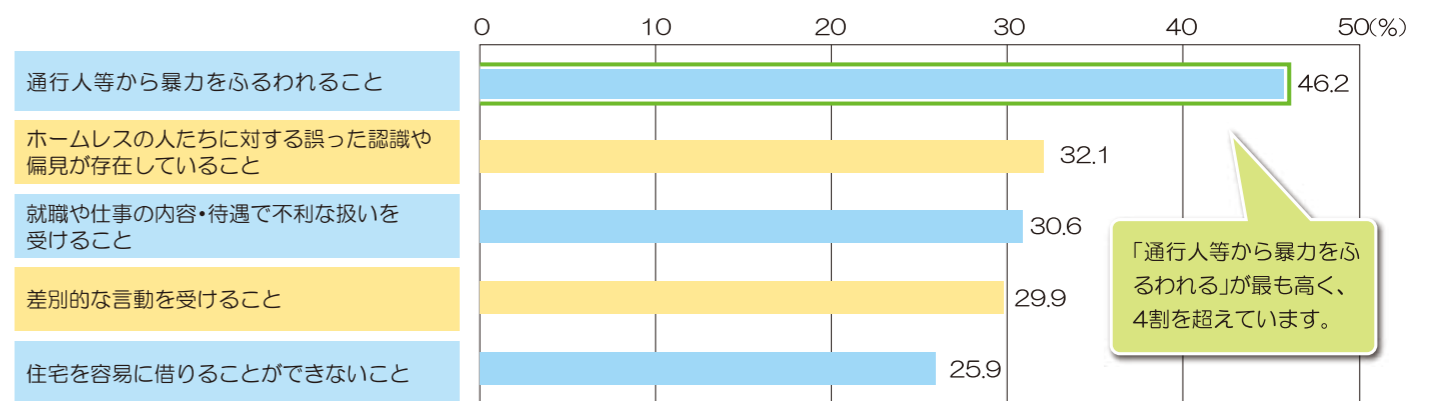
Q HIV(エイズウイルス)感染者などに関する事柄で、人権上問題があると思われることは？



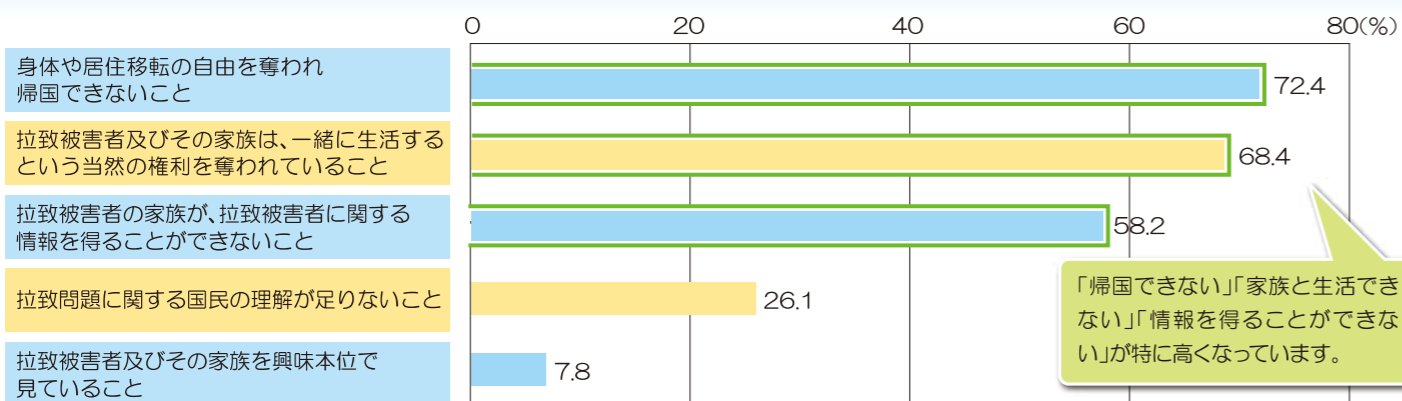
Q インターネットに関する事柄で、人権上問題があると思われることは？



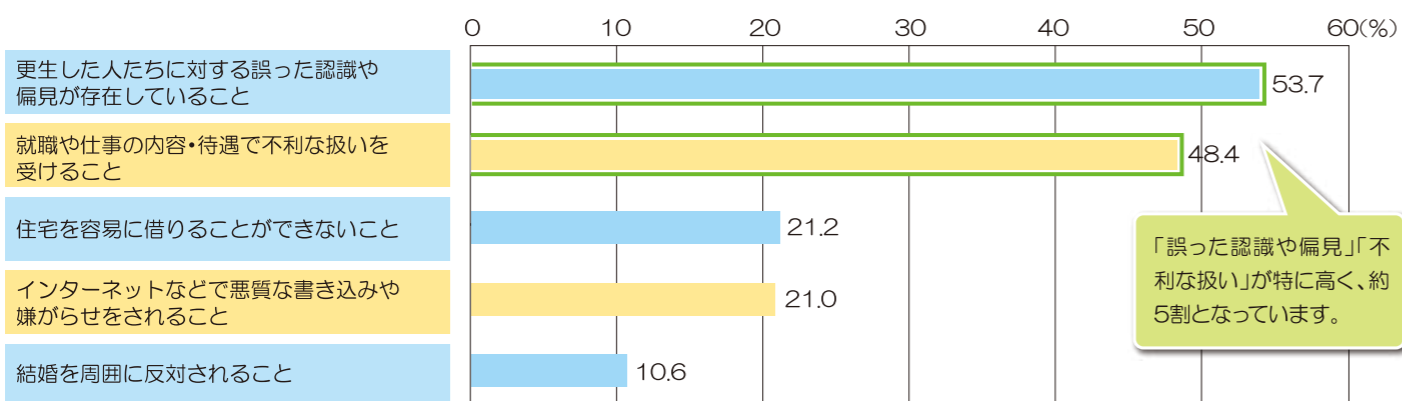
Q ホームレスに関する事柄で、人権上問題があると思われることは？



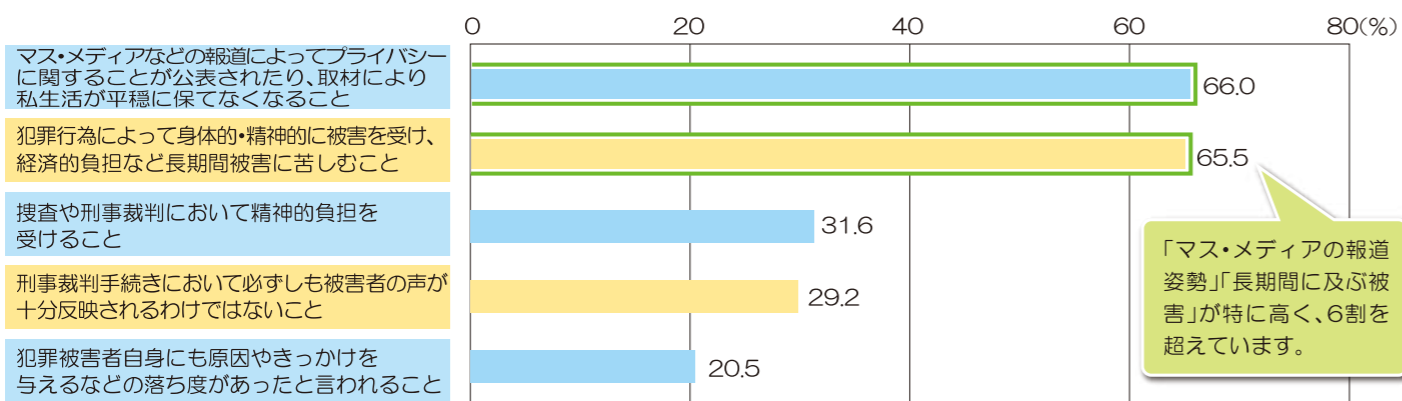
Q 北朝鮮当局によって拉致された被害者等に関する事柄で、人権上問題があると思われることは？



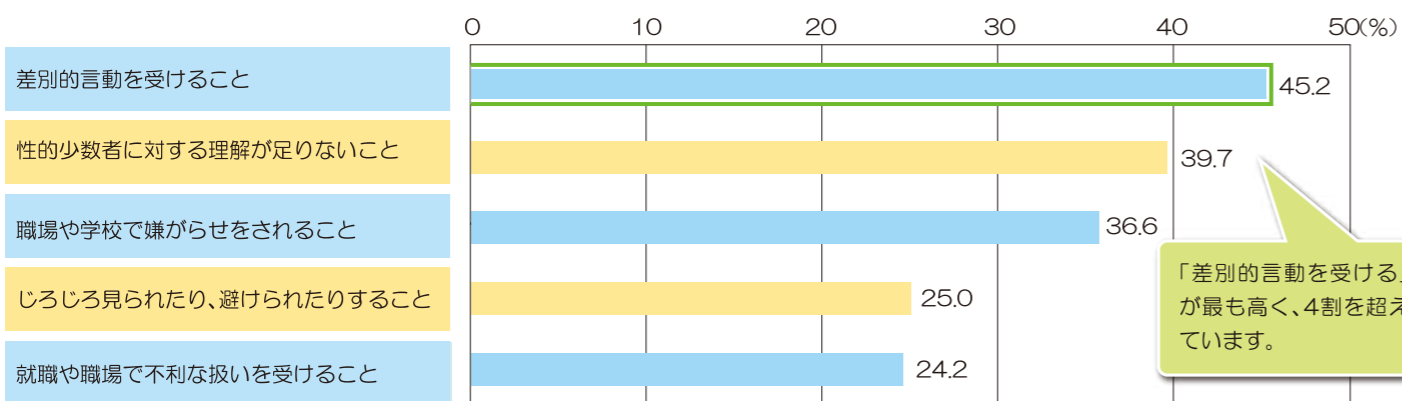
Q 刑を終えて出所した人に関する事柄で、人権上問題があると思われることは？



Q 犯罪被害者やその家族に関する事柄で、人権上問題があると思われることは？



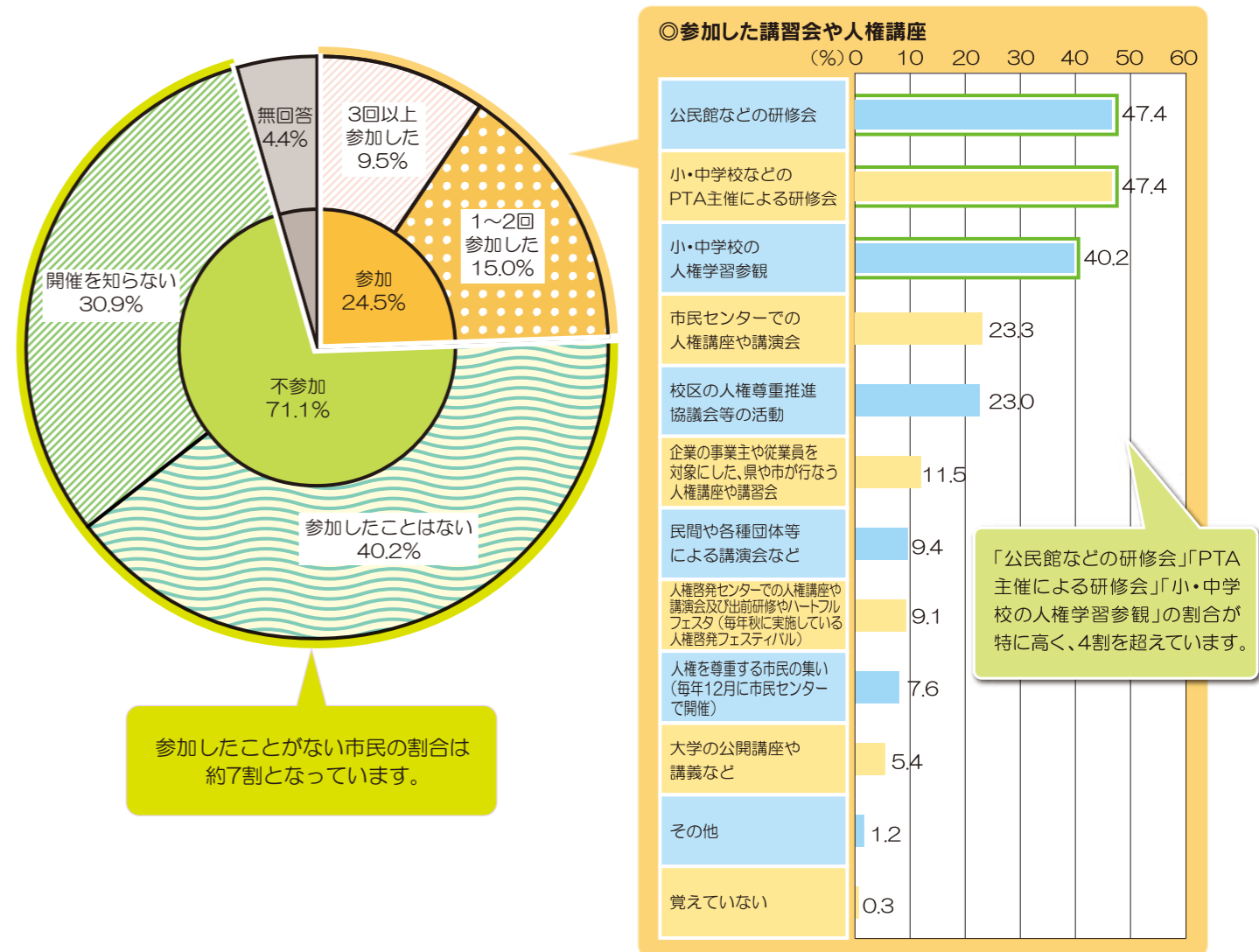
Q 性的少数者に関する事柄で、人権上問題があると思われることは？



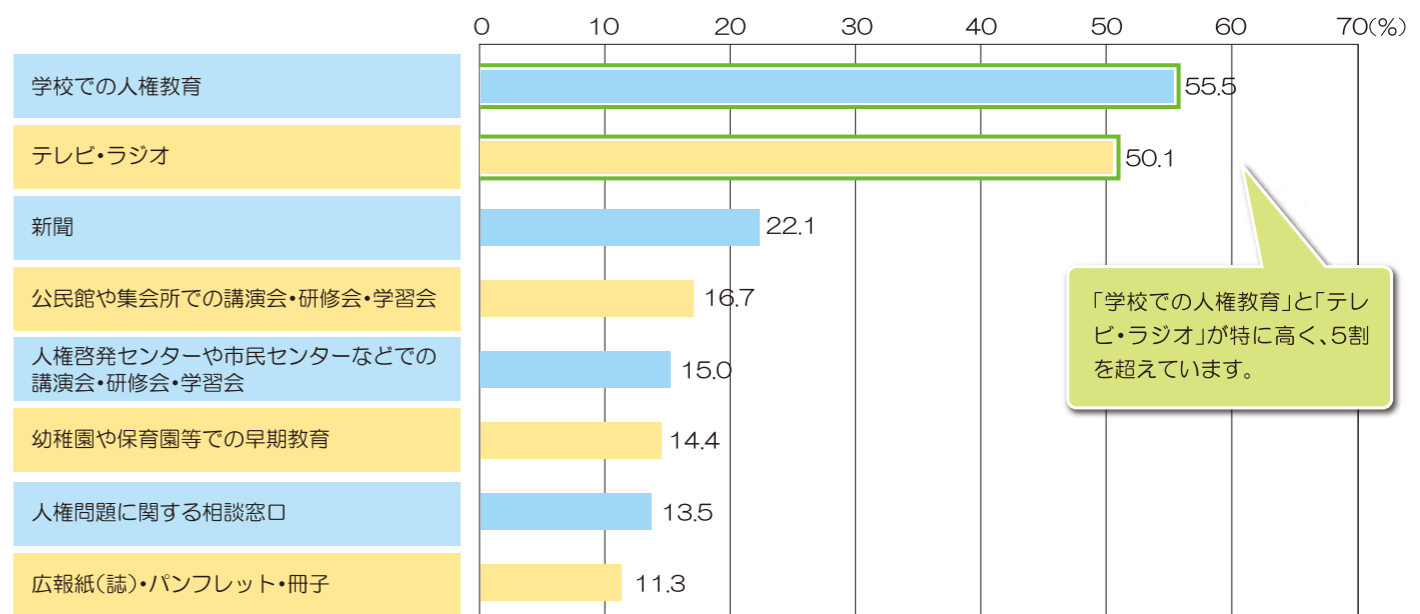
※性的少数者…性同一性障がい者(からだの性とこころの性が一致しない状態)や、同性愛者・両性愛者など。

様々な人権問題の啓発

Q 講演会や人権講座への参加状況



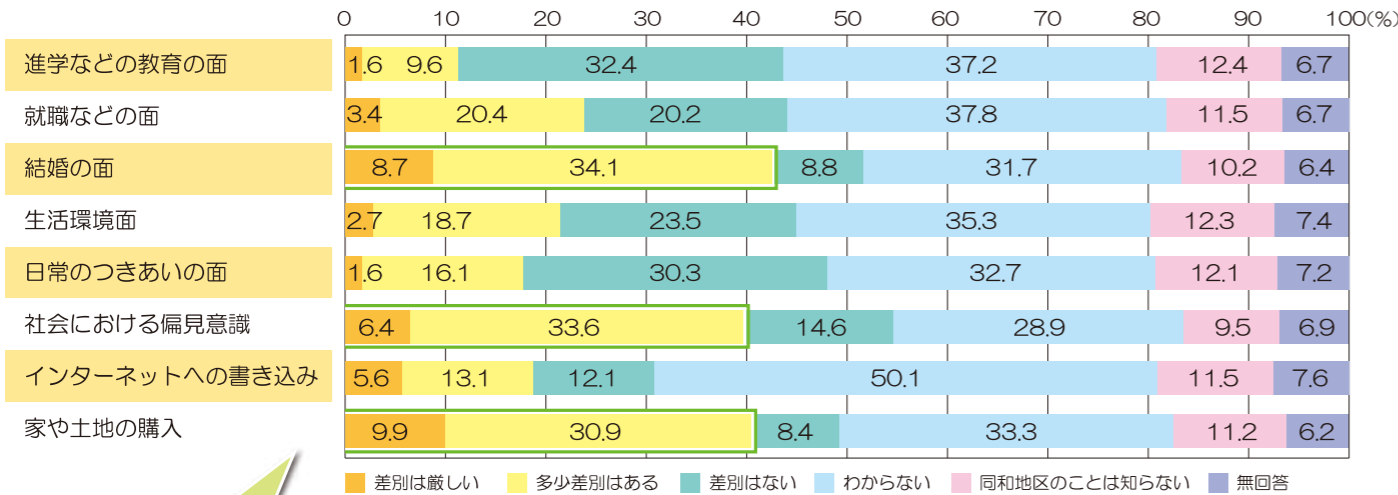
Q 人権問題の理解を深めるのに役立つと思われるものは？



※選択肢のうち、10%以上のものを掲載

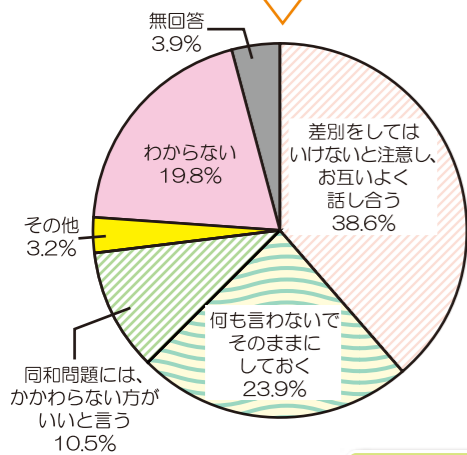
様々な人権問題

Q 同和問題について、いまなお差別があると思いますか？

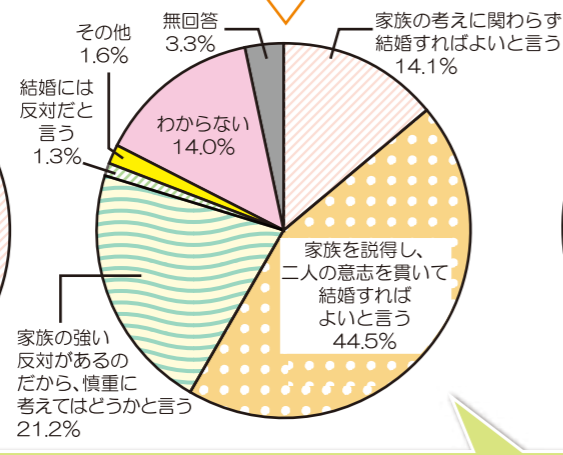


「結婚」「社会における偏見意識」「家や土地の購入」の3項目について、「差別は厳しい」「多少差別はある」の割合が高くなっています。

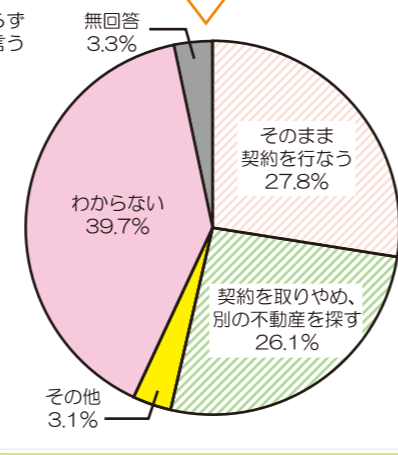
身近な人が、同和地区出身者に対して差別的な言動をした場合どうしますか？



「同和地区出身者との結婚について、家族から反対されている」と相談を受けた場合どうしますか？

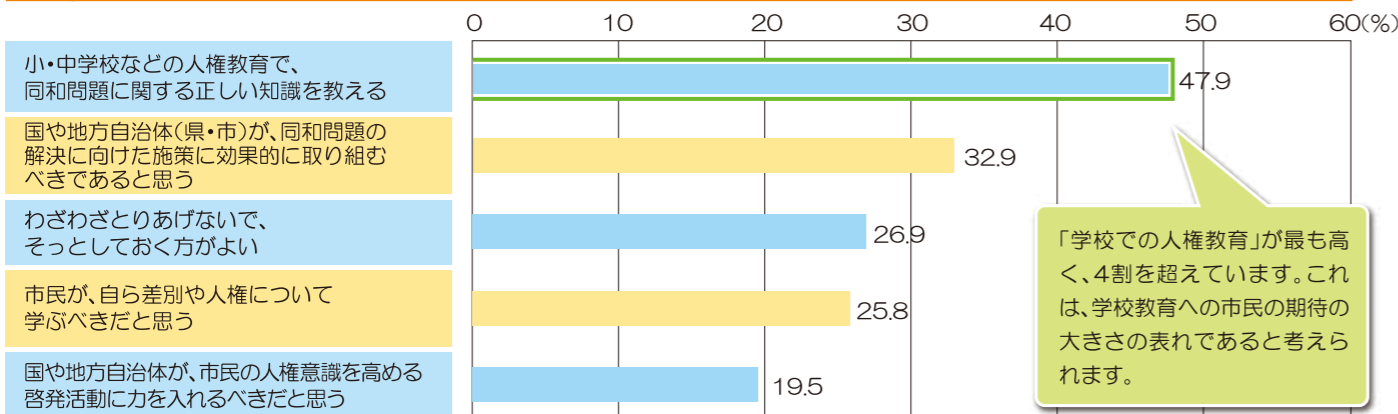


希望条件に合う不動産が同和地区内もしくは同和地区と同じ校区内にあった場合どうしますか？



表紙のグラフの通り、約6割の人が、人権が尊重されている社会だと思うと回答しているにも関わらず、いざ自分が現実の人権問題と向き合ったときに取る行動とは差があることがうかがえます。

Q 同和問題解決への望ましい方向性は？(3つまで)



「学校での人権教育」が最も高く、4割を超えています。これは、学校教育への市民の期待の大きさの表れであると考えられます。

※割合の高かった選択肢上位5つを掲載

すべての人が尊重される社会づくり

福岡市では、一人ひとりが互いに人権を尊重し、多様性を認め合う社会を目指し、平成16年(2004年)に「福岡市人権教育・啓発基本計画」を策定し、人権教育・啓発を積極的に推進しています。

この調査結果から明らかにされた市民意識の現状とその課題を踏まえて、人権尊重についての理解がより一層深まるよう、人権教育・啓発を中心とした人権施策に取り組んでいきます。



福岡市人権啓発センター (ココロンセンター)

相談事業や
出前研修も
しています

福岡市人権啓発センターでは、セミナーやフェスティバルなどの人権啓発事業の開催、図書・DVDなどの閲覧・貸出、様々な人権問題に関する相談などを行っています。

また、地域や職場で研修会を開きたいけど、「どのように企画したらよいか分からない」「講師になってくれる人を知らない」などのさまざまなご相談をお受けするなど、研修企画の相談や研修講師の紹介も行っています。当センターの専任講師が、出前(市内に限る)で研修を行うことも可能です。相談や研修は無料。お気軽にお問い合わせください。

◆研修内容: 視聴覚教材の使用やグループ討議を取り入れた内容で、時間は90分程度。

所在地: 福岡市博多区下川端町3-1 博多リバレインオフィス10階

TEL: 092-262-8464 FAX: 092-262-8463

人権啓発相談室 TEL: 092-262-8687

ホームページ <http://jinken.city.fukuoka.lg.jp/>

ココロンセンター

平成24年度(2012年度)人権問題に関する市民意識調査の概要

○目的

人権問題に関する市民の意識を把握し、啓発事業等の人権施策の一層効果的な推進を図るとともに、今後本市が取り組むべき人権行政のあり方を検討する上での基礎資料を得るため実施。

○調査の対象等

調査対象者: 福岡市内に居住する満20歳以上の男女3,000人
調査方法: 平成24年12月に郵送法による調査を実施
抽出方法: 住民基本台帳からの無作為抽出

○回収状況

有効調査票: 1,351票(回収率45.0%)

○本調査に関するお問い合わせ先

福岡市市民局人権部人権推進課 〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8番1号

TEL: 092-711-4338 FAX: 092-733-5863

E-mail: jinkensuishin.CAB@city.fukuoka.lg.jp

※この調査結果の詳細な内容については、福岡市HP (<http://www.city.fukuoka.lg.jp/>) または、福岡市人権啓発センターHP (<http://jinken.city.fukuoka.lg.jp/>) 等で閲覧することができます。

平成25年(2013年)9月発行

